

まちの将来像の検討について

第 3 回 検討委員会 資料

令和 2 年 10 月 16 日 (金)

近鉄小倉駅周辺地区まちづくり検討委員会

事務局 宇治市都市整備部都市計画課

まちの将来像の検討について

1 各ゾーンにおける課題・魅力等の整理

前回（第2回）委員会で4つに区分したゾーンごとの課題・魅力等を抽出し整理。（図2-2、図2-3）

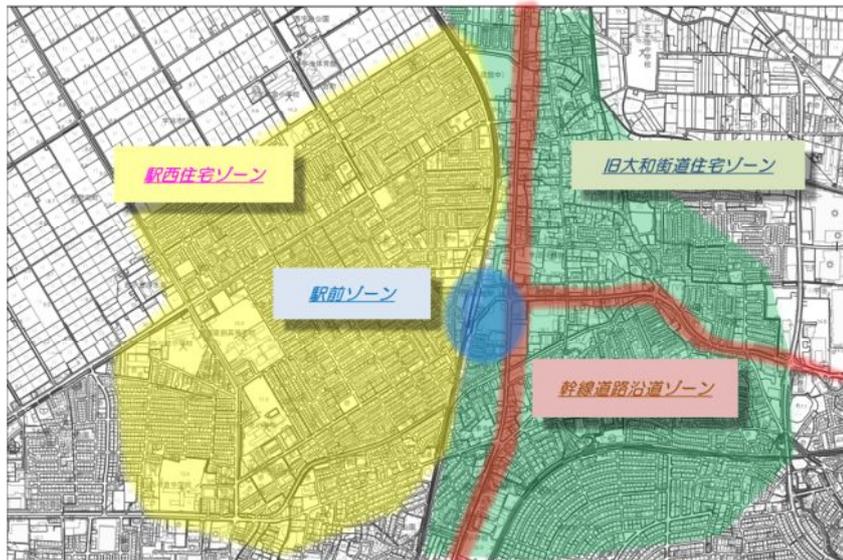


図 2-1：4つに区分したゾーン

2 各ゾーンにおける将来像（案）

1で整理した課題・魅力等を基本に、以下のように将来像を提案。（図2-4）

・ 駅前ゾーン

- » バリアフリーで東西へアクセスしやすい駅
- » 送迎エリアのあるアクセスしやすい駅前
- » 商業施設などで人が集い にぎわう駅前

・ 駅西住宅ゾーン

- » 生活と商いが融合した活気あるまち
- » 安全で暮らしやすい住宅地

・ 旧大和街道住宅ゾーン

- » “ふるさと”のまちなみを活かした住宅地

・ 幹線道路沿道ゾーン

- » 良好なアクセス性を活かした商業施設などによる、にぎわいのある沿道

3 駅前ゾーンにおける各エリアの機能（案）

1) 駅前ゾーンを3つのエリアに分け、各エリアに持たせる機能を提案。(図2-6)

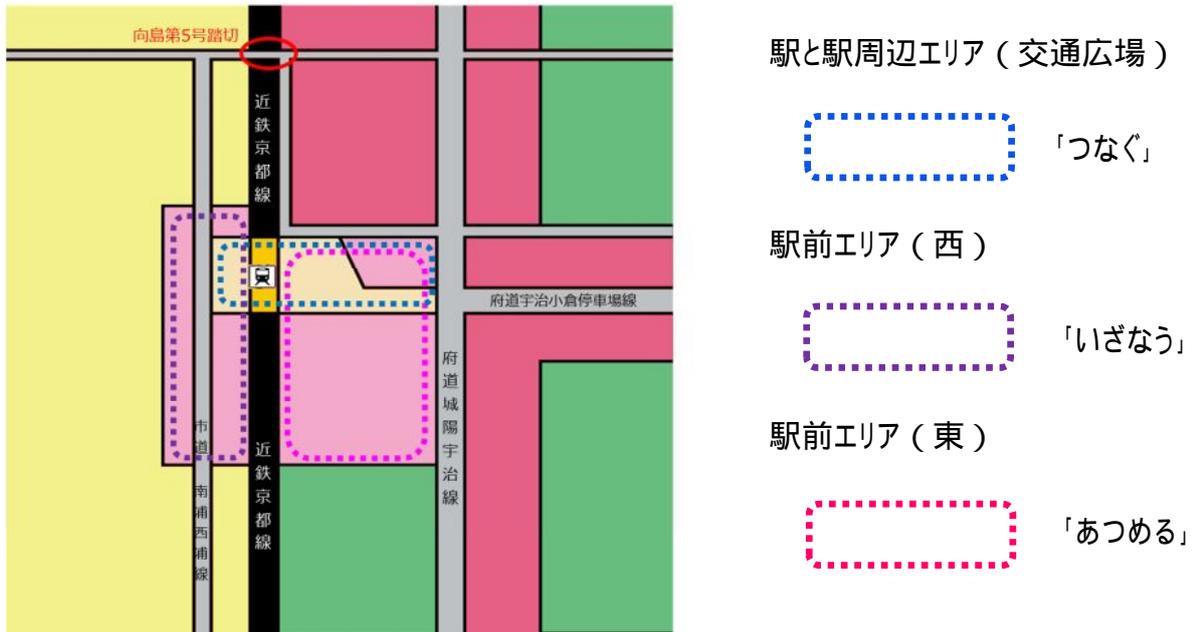


図 2-5：駅前ゾーンの3つのエリア

2) 「駅と駅周辺エリア（交通広場）」に関する駅舎・駅前広場整備については、周辺土地利用の状況も踏まえ短期課題（早期に検討すべき課題）であると考え、その必要性も含め、次回以降の委員会で検討に着手する。

2) 以外の課題については、次回委員会以降で短期（早期）・中長期を区分することに加え、その解決手法について提案。



図 2 2 : 駅前ゾーンの課題・魅力

赤枠の項目は「課題」



図 2 3 : 各ゾーンの課題・魅力 (駅西住宅ゾーン・旧大和街道住宅ゾーン・幹線道路沿道ゾーン)

各ゾーンにおける将来像(案)

駅前ゾーン

駅アクセス性の改善

鉄道による地域分断改善

まちの玄関にふさわしいにぎわいのある空間の創出

- ▶ バリアフリーで東西へアクセスしやすい駅
- ▶ 送迎エリアのあるアクセスしやすい駅前
- ▶ 人の交流・多様な商業施設などでにぎわう駅前

駅西住宅ゾーン

生活利便性の向上

商業ポテンシャルを活かしたにぎわいの創出

防災性の向上

住環境の改善

- ▶ 生活と商いが融合した活気あるまち
- ▶ 安全で暮らしやすい住宅地

幹線道路沿道ゾーン

生活利便性の維持・向上

住環境の改善

- ▶ 良好なアクセス性を活かした商業施設などによる、にぎわいのある沿道

旧大和街道住宅ゾーン

“ふるさと”のまちなみ継承

- ▶ “ふるさと”のまちなみを活かした住宅地

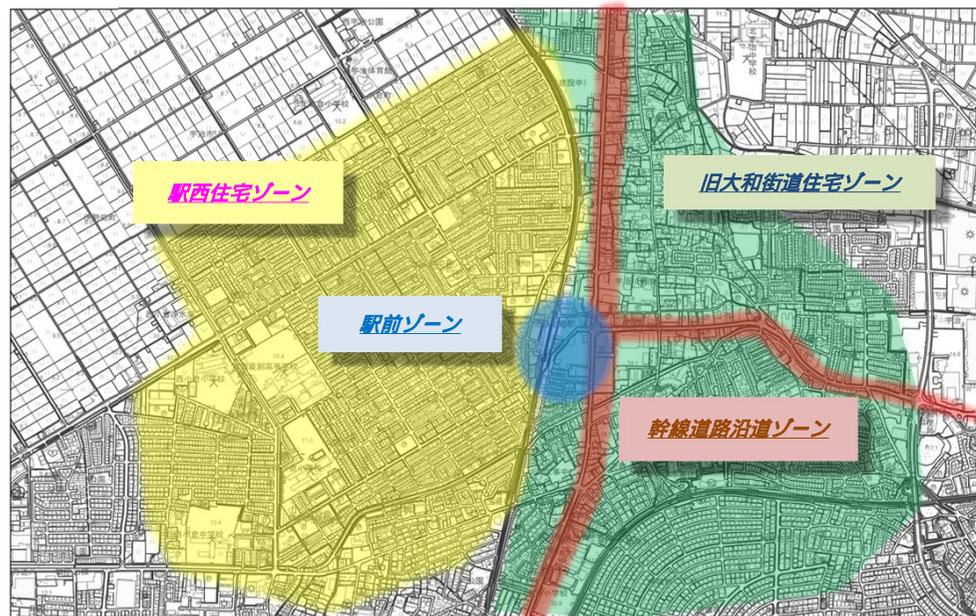


図 2-4：各ゾーンにおける将来像(案)

駅前ゾーンにおける各エリアの機能(案)

駅前エリア(西)

～ いざなう ～

Plan 生活と商いが融合した活気あるまちへ“いざなう”
- 駅西住宅ゾーンの玄関口として駅から人を誘導し、にぎわうまちに誘い込む

Do **» 商業ポテンシャルを活かした、魅力ある店舗群の立地**

駅と駅周辺エリア(交通広場)

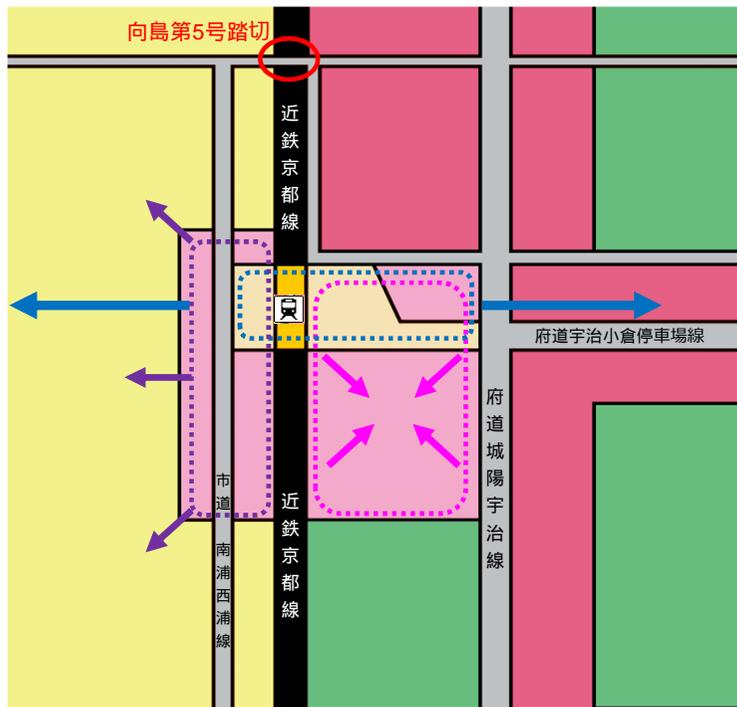
～ つなぐ ～

Plan まちの玄関として東西の地域を“つなぐ”
- 鉄道によって分断された駅西住宅ゾーンと幹線道路沿道ゾーン・旧大和街道住宅ゾーンをつなぐ

Plan まちの玄関として道路と駅を“つなぐ”
- 駅と自家用車・自転車・バス・タクシー等 利用者をつなぐ
今後、バス・タクシー等の乗入れについて検討が必要

Plan 災害時の避難ルートとして東西の地域を“つなぐ”
- 災害時にバリアフリーで移動可能な避難経路を確保する

Do **» 東西移動性(歩行者バリアフリー)の向上**
» 【東】中距離エリアをカバーする交通結節機能の設置
» 【西】駅近傍に車の乗降環境を整備



- 駅前商業地
- 幹線道路沿道ゾーン
- 交通広場
- 駅西住宅ゾーン
- 旧大和街道住宅ゾーン

駅前エリア(東)

～ あつめる ～

Plan 人を“集める”
- 地区に住む人、働く人、遊びに来る人が集う拠点をつくる

Plan サービスを“集める”
- 地区拠点としてふさわしい機能を集め、駅を中心とした暮らしやすいまちを目指す

Do **» 商業施設や住居など周辺環境と調和した施設で、にぎわいを創出**

図 2-6 : 駅前ゾーンにおける各エリアの機能(案)